

サービス評価基準(サービス編・介護老人福祉施設, 介護老人保健施設)

「小項目」欄の(共通)は、介護老人福祉施設と介護老人保健施設に共通の項目を、(特養)は介護老人福祉施設専用の項目を、(老健)は介護老人保健施設専用の項目を、それぞれ示します。

1 日常生活援助サービス

(1)食事

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
1	①食堂の雰囲気づくり (共通)	<p>食事をおいしく、楽しく食べるための食堂の雰囲気づくりを行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者にあつた椅子、テーブルの高さや形等を工夫している</p> <p><input type="checkbox"/> ② テーブルクロスを使用したり、絵や観葉植物を置くなど工夫している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 食堂の採光、照明、通風、温度に気を配っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 介助者は食事前のエプロンを着用している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 料理に合う食器を使ったり、盛りつけ等の工夫をして、見て楽しめるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>食事を楽しむために、入所者の姿勢や背の高さ、障害の状態等に応じたテーブルや椅子の高さ、形などの工夫を行うことが必要です。また、旬の食材の使用や盛り付けの工夫、イベントメニューを設けるなど、食事を楽しみながら、おいしく食べれるための工夫を行うことが求められます。</p> <p>この設問は、食堂の設備など利用者が食事を摂るにふさわしい環境が整えられているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
2	②食事の選択 (共通)	<p>食事の選択が可能になっていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 毎日、複式献立(選択食)にしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 週1回以上、複式献立(選択食)にしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 月1回以上、複式献立(選択食)にしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ バイキング方式をとっている(月に1回以上)</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 常設喫茶等を設けている(食事も可能な喫茶であること)</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者の食習慣や好み等に応じて、「選べる」場面づくりを行うことが大切です。食べられる量や好きなメニューなど、自分自身の思いを表明することによって、食事が楽しいものになる他、(達成感)を味わうことになり、入所者のいきいきとした生活の援助に結びつきます。</p> <p>ここでいう「複式献立(選択食)」は、すべての献立で「複式献立(選択食)」である必要はなく、主食や主菜や副菜等の一品でも選択が可能な状態をいいます。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
3	③料理の保温に対する配慮 (共通)	<p>温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で食べられるような配慮がされていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 冷蔵庫、電子レンジの使用により、温めることや冷やすことができる</p> <p><input type="checkbox"/> ② 食事をとる直前に配膳(盛りつけ)をしたり、保温食器を使用している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 居室へ配膳する際も保温に配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ イベントメニューでは作りながら出している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ お茶やコーヒーは希望を聞いてからつくるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>温冷配膳車や電子レンジ等の使用することで、病院への通院や体調不良等により、食事時間がずれた場合でも、食事をよりおいしく食べるための配慮を行うことが求められます。また、入所者の目の前で調理するなどの工夫により、食欲を増進する取り組みを行うことが期待されます。</p> <p>この設問は、適温提供についての工夫をどのように行っているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
4	④食事介助のペース (共通)	<p>食事介助は入所者のペースに合わせていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 個人の身体状況に合わせて入所者自身が、自分のペースで食べられるように食器や自助具を工夫している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 要介助者には、コミュニケーションを図りながら、あせらずに食べられるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 1回に口に運ぶ量にも気を配り、飲み込んだのを確認してから次の介助をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 介助者は、入所者自身で行える範囲を把握しており、必要以上の介助をしていない</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 食事介助等にゆとりがもてるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>食事時間はともすると、時間に追われがちになりますが、入所者の身体状況にあわせた自助具や食器を使用したり、入所者個々のペースにあわせた食事介助を行うことで、入所者の食べたいという気持ちを引き出すことにつながります。</p> <p>この設問は、食事介助にあたって、入所者の個々のペースをどのように観察し、一人ひとりに合った食事介助が行われているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
5	⑤栄養管理 (共通)	<p>入所者に対する栄養管理が適切に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 医師、看護・介護職員等と常時、入所者別の状況について綿密な連携を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 常勤の管理栄養士が配置されている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者個々人の病状・健康状態及び栄養面・形態に配慮した食事になっている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 食事摂取量のチェックを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者の要望や嗜好を調査し、献立に反映させている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>栄養管理の面において、一人ひとりの身体状況や咀嚼力、嚥下力等を栄養士、医師、看護・介護職など多職種の連携のもとで協議したうえで、個別の配慮を行うことが必要です。また食事摂取量等、必要な記録をとる他、嗜好等に関するアンケート調査を行い、記録や調査の内容を献立に反映することも期待されます。</p> <p>この設問は、入所者への栄養管理の具体的な取り組みを問うものです。</p>

(2)入浴

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
6	①入浴日以外の入浴(共通)	<p>入浴日以外の日でも希望があれば入浴あるいはシャワー浴ができますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 希望があれば毎日でも入浴やシャワー浴ができる</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入浴日以外でも、週に何度かは希望により、入浴できる日を設けて実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入浴日以外でも、入所者が希望すれば、いつでもシャワー浴ができるような体制が整っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 夜間の入浴日を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 希望により家族との入浴ができるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入浴日以外の日や時間(夜間等)であっても、生活習慣などに応じて、希望があった場合に柔軟に対応できるよう体制を整えることが大切です。</p> <p>この設問は、入所者の入浴に対する希望にどのように応じる体制があるかを問うものです。</p> <p>なお、ここでいう「夜間」とは、深夜帯の時間をさすのではなく、消灯までの時間をさします。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
7	②身体の状況に応じた入浴方法(共通)	<p>身体の状況に応じた入浴方法(安全・形態)をとられていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 必要に応じて職員間で入浴方法や形態について検討が行われたり、リハビリ用(家庭生活対応型)の浴槽が用意されたり、好みの湯の温度・量・時間等が調整されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入浴チェックマニュアルがあり、入浴前後の個々人の健康状態の確認とともに、入浴介助の際にも利用がされている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 機械浴・リフト浴・一般浴等、浴槽は数種類用意されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ シャワーチェア、その他の介護福祉用品も、入所者の状況に合わせたタイプが何種類か準備されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入浴後の水分摂取やスキンケアがなされている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入浴介助マニュアルをもとに、個々の健康状態を確認するとともに、入所者個々の身体状況等に応じて、入浴方法や形態などを職員間で検討し、安全に配慮した入浴を行うことが求められます。</p> <p>この設問は、入所者が入浴する際に、安全面・設備面等でどのような工夫が行われているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
8	③羞恥心への配慮(共通)	<p>入浴時、裸体を他人(介助者は除く)に見せない工夫がとられていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入浴マニュアルの中で、羞恥心への配慮が明文化されており、実行されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 着脱は浴室内の脱衣所において行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 脱衣は入浴の直前に行われ、何らかの理由で早く脱衣を済ませた入所者には、バスタオルで身体をおおう等の配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 浴室はドアやカーテンで仕切り、性別に配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 個別入浴を実施している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者の希望等に応じて、同性介助にしたり、入浴時に他人から裸体が見えないように、バスタオルをかけたリ、ドアを閉めることを徹底するなどの羞恥心に配慮した取り組みを行うことが必要です。</p> <p>この設問は、入浴場面における入所者の羞恥心への配慮について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
9	④タオルの準備 (共通)	<p>入浴の際のタオルは1人1枚以上用意されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 必要があれば1人何枚でも使用できる状態にある</p> <p><input type="checkbox"/> ② 使用部位別にタオルの種類を備えている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ タオルは少なくともプライバシー保護用と、洗顔用の2枚は用意されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 洗髪後には、新たなタオルで十分に拭き取り、身体を拭き取るためのタオル(バスタオル)も用意されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 希望があれば、個人用のタオルも使用できる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入浴で使用するタオルは、衛生上の理由から他の入所者と共用せず、1人ごとに使用することが基本であると考えます。</p> <p>また、タオルは、洗顔・洗身、洗髪後、プライバシー保護用、拭き取りなど一度の入浴で使用する場面がさまざまです。</p> <p>この設問は、入浴に際して、タオルの用途や場面に応じての使い分けなど、衛生面や入所者の羞恥心について問うものです。</p>

(3)排泄

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
10	①排泄自立 (共通)	<p>入所者に対して排泄自立のための働きかけをしていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケア会議等において、個別の排泄自立支援への対応策が職員間で検討されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者に対して、どの部分に介助が必要であるのかを把握し、実行している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 尿意や便意のあった時には、自分で行けるよう、介助パー、ポータブルトイレ等を設置したり、衣類は着脱しやすいものにし、パンツやバットの工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 尿意や便意のある入所者には、おむつをあてていても、ポータブルやトイレで介助している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 認知症のある入所者にも、声をかけて誘導し、トイレでの排泄を促している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>個々の排泄パターンを把握したうえで、ミーティング等で個々のケアの方法や対応について話し合いを行い、早めの声かけや誘導など、排泄自立のための働きかけを行うことが期待されます。</p> <p>この設問は、自立支援の理念に基づいて、入所者の排泄自立をどのように支援(介助)しているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
11	②深夜・早朝のおむつ交換 (共通)	<p>深夜・早朝のおむつ交換に配慮していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 必要に応じて職員間でおむつの検討を行い、理由付けがなされたうえで、行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 安眠のために何種類かのおむつを組み合わせ利用している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 個々の排尿量によって、深夜・早朝の回数を設定し交換している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 夜間おむつ交換が必要な入所者には、安眠の妨げにならない範囲で必要時に実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 交換の都度、皮膚の観察、清拭等で清潔の保持と褥瘡予防に努めている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>機械的な交換にならないように、安眠と入所者の快適性の兼ね合いを考えながら、介助を行うことが大切です。また、個々の尿量等に応じたおむつの種類や回数を検討し、対応することが求められます。</p> <p>この設問は、特に職員配置が薄くなる深夜・夜間でも、入所者の快適に配慮するための取組の状況を問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
12	③羞恥心への配慮 (共通)	<p>排泄介助時にカーテンを引く等プライバシーが守られていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ポータブルトイレの位置に配慮し、スクリーン等の利用によりプライバシーを守るようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② トイレ介助の際は、カーテン等は必ず閉めてから介助する等、プライバシーを守っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ おむつ使用者には、ベッド周りにカーテン等を使用している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 居室でのポータブル使用の際、支障の生じないスペースがある</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 臭気を取り除くための配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>排泄介助の際には、声かけや誘導方法、声の大きさなどに十分注意を払うとともに、臭いや音への配慮など、入所者の羞恥心や尊厳に配慮した介助を行う必要があります。</p> <p>この設問は、排泄場面における入所者の羞恥心への配慮について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
13	④排泄記録表の作成 (共通)	<p>排泄記録表が作成され、健康管理その他の面で活用されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケア会議等において、排泄関連問題の対応策が職員間で話し合われる体制がある</p> <p><input type="checkbox"/> ② 個別の排泄記録表が作成され、排尿・排便の状況を把握し、排泄自立のための働きかけをしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 排尿・排便が困難な入所者に対しては、必要に応じて関係者と連携のうえ、対応している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 水分の摂取量とともに補給する内容の検討、また、食事面への配慮にも努めている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 気にかかる入所者については、観察したことも含めて記録のうえ、申し送りをしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>排泄記録の作成を単なる記録とせず日中活動を行う際の水分補給や食事内容など、生活の各場面に反映させる視点が求められます。</p> <p>この設問は、排泄から見える入所者の健康状態をどのように把握し、ケアに活かしているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
14	⑤適切な用具の使用 (共通)	<p>おむつやおむつカバー、便器等は入所者に適したものが使用できるよう配慮されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 各人にあったものが準備できるよう、ケア会議等において検討ができる体制にしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 可能な限り入所者との話し合いによって、個人に適したものが使用できるよう努力している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 時には職員間での実体験等も取り入れて、入所者に適した用具を活用する努力をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 排泄自立に向けた用具の使用がされている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 新しい用具の情報収集に努めている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者個々の身体状態や尿量、尿意・便意の有無等の状況にあわせて、適切なものが使用できるよう、ケア会議等において、職員間で検討できる体制が整えられていることが求められます。</p> <p>この設問は、排泄に関連する福祉用具の提供について問うものです。</p>

(4)寝たきり防止

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
15	①寝・食分離 (共通)	<p>寝たきり防止が徹底され、少なくとも寝・食分離が行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 食事は医師等の指示により安静が必要な人を除いて、必ずベッド以外の場所ととれるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 日中グループ活動や行事等を設定し、離床する機会・時間が増えるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 長時間の離床が困難な入所者でも、食事以外の時でもベッドと車椅子の移乗介助を行い、寝たきりにならないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 車椅子へ移乗できない入所者は福祉用具等を利用し、少しでも座位を保つよう努力している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者個々の状態に応じた補助具等を使用し、少しでもベッドから離れることができるよう配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>体調不良など、健康状態に問題がない限り、食堂での食事を原則としたり、日中の活動の充実等により、1日の生活の中にメリハリをつけ、起きることを目的とするのではなく、楽しみながら寝・食分離できるよう、取り組むことが期待されます。</p> <p>この設問は、寝・食分離についての取組状況を問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
16	②総臥床時間減少の努力 (共通)	<p>1日の総臥床時間を減少する努力が行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 本人の状態を把握したうえで、休養以外でベッド上に常時寝ていることがないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 訓練を日常の中に取り入れ、少しでも起座時間を延ばすことができるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 車椅子へ移乗できない入所者は、福祉用具等を利用し、少しでも起座できるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 拘縮のひどい入所者や全面介助の入所者でも個々の病態にあった車椅子を利用し、少しでも起きていることができるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 起きている時の過ごし方にも配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>身体の状態等に応じた車椅子やクッション等の工夫によって、入所者が苦痛を感じることなく、座位を保てるよう、配慮することが大切です。</p> <p>この設問は、寝・食分離を実践する具体的な取り組みの一つである臥床時間の減少にどのように取り組んでいるか、その状況を問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
17	③寝間着・日常着の 区別 (共通)	<p>日中は、寝間着から日常着に着替えるようにしていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 全面介助者でも起床時に着替えるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 全面介助者でも、日中職員が増えた時点で着替えをしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 全面介助者を除いては、起床時の介助として日常着への着替えを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 着脱が自立している入所者には、取り出しやすい場所に衣類を収納する等の働きかけをし、日常着に着替えやすいような配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 日常着も個別の障害に合わせてリフォームしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>1日の生活の中にメリハリをつけるためにも、寝間着から日常着への着替えの支援をすすめられることが期待されます。</p> <p>なお、身体状況等から、特に寝巻きと日常着の区別をつけていない入所者に対しては、就寝時と日中の区別を更衣という面からどのように付けているかという工夫について回答してください。</p>

(5)自立支援

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
18	①自立を促す適切な介助(共通)	<p>日常生活動作にすべて手を貸すのではなく、入所者ができるだけ自分で取り組めるように配慮していますか。</p> <p>☆□ ① ADL調査表の見直しや多職種の連携等により、より正確な評価ができるようにしている</p> <p>□ ② 調査を行い、データを分析するなどして入所者自らの取り組みへの働きかけをしている</p> <p>□ ③ 残存機能と、現在の機能をきちんと評価し、できる所は手を貸さずに見守るようにしている</p> <p>□ ④ 設備や環境を整える等により、入所者が自分で取り組めるようにしている</p> <p>□ ⑤ 入浴・食事等、介助者が忙しい場面でも、入所者が自分で取り組めるようにしている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>不自由な中でも、その人らしい自立した生活を送るために、職員が入所者の「できないこと」を一時的に介助するのではなく、入所者の「できること」と「できないこと」を把握し、できるところは自分で取り組めるにすることが大切です。これらの意識をまず職員間で共有し、少しずつ取り組んでいくことで、入所者の自信の回復や意欲の向上にも結びつくことが期待されます。</p> <p>この設問は、日常生活動作の各場面で、入所者の自立をどのように促しているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
19	②自助具・補装具の設置(共通)	<p>入所者の障害にあわせた、自助具や補装具などが、準備されていますか。</p> <p>☆□ ① 定期的に個々の障害のレベルについて検討され、自助具や補装具の見直しをしている</p> <p>□ ② 入所者の障害を正確に把握し、個々のレベルに応じた自助具や補装具を用意し、それぞれのレベルでの自立生活ができるように配慮している</p> <p>□ ③ 必要に応じて、理学療法士や作業療法士等、他職種との連携を図り、個別の対応、適した自助具・補助具の選択に努めている</p> <p>□ ④ 心身機能が低下した入所者にも使いこなすことができる自助具であるよう配慮している</p> <p>□ ⑤ 既存の物だけでなく、入所者を観察したり、話し合いをする中で自助具を考案している</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>入所者の自立支援のために、必要な福祉用具を準備するとともに、トイレや浴室などの設備を工夫し、できる部分は自分自身で行えるような配慮を行うことが必要です。</p> <p>この設問は、日常生活動作の各場面で、入所者の自立を促すための自助具や補装具の提供状況について問うものです。</p>

(6)外出や外泊への援助

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
20	①外出の機会の確保(共通)	<p>1人で外出することが困難な入所者に対して、希望を聞き、外出の機会を確保していますか。</p> <p>☆□ ① 入所者が自由に希望が述べられる機会づくりに配慮している</p> <p>□ ② 社会資源等も活用し、希望に応じて1対1での外出もできるようにしている</p> <p>□ ③ 生活場面、面接等を通し、入所者の希望を把握し、外出の機会を多く設定している</p> <p>□ ④ 季節ごとに外出の機会を設け、計画的に実施している</p> <p>□ ⑤ 日常の中で、個別に散歩の機会を設ける等の配慮をしている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>季節行事やレクリエーションを企画する際は、地域の社会資源を十分に把握したうえで行う必要があります。また、入所者が日々の生活の中に楽しみや生きがいを感じられるような工夫を取り入れることも期待されます。</p> <p>この設問は、入所者の外出についての取組状況を問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
21	②家族への働きかけ (共通)	<p>外出・外泊の機会を多く持ってもらよう家族等に積極的に働きかけていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者の希望を聞き、年末・年始以外でも外出・外泊の機会を持てるよう家族への働きかけをしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 年末・年始には外出・外泊の機会を持てるように働きかけている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所面接の段階で、家族に外出・外泊について説明し、協力を依頼している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 家族会を組織化し、外出・外泊の機会を家族等に積極的に働きかけている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 行事等は家族も一緒に参加できるようなものを計画し、外出の機会としている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>家族との交流の機会を確保したり、入所者の生活にメリハリをつける意味でも、負担のない範囲で外出・外泊ができるよう配慮することが大切です。なお、家族の状況や家庭環境等により、外泊が難しい場合でも、外出先で家族と合流するなどの工夫を行うことが期待されます。</p> <p>この設問は、入所者の外出・外泊にあたり、家族等の協力をどのように働きかけているか、その取り組みを問うものです。</p>

(7)会話

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
22	①入所者への言葉づかい (共通)	<p>入所者への言葉づかいに特に注意し、そのための検討が行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者の心身の機能レベルにかかわらず、自尊心を傷つける言葉づかいや幼児語を用いないよう注意している</p> <p><input type="checkbox"/> ② マニュアル等を利用し、個人の意識の高揚に努めている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 日常的にマニュアルの検討ができるよう、検討委員会等を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 接遇教育を継続的にしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入浴等の場面でも、決して指示的な言葉にならないように注意している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者を年長者として尊敬する姿勢を大切に、言葉づかいや態度などについて、職員への注意を喚起するためにも、マニュアル内容の周知や定期的な見直し、接遇教育の継続的な実施などが期待されます。</p> <p>この設問は、利用者の尊厳を尊重する姿勢やそのための工夫について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
23	②適切なコミュニケーション方法の実行 (共通)	<p>日常会話が不足している入所者に対して、言葉かけと相手の話に耳を傾けるように配慮していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者からの話を引き出す努力をするとともに、入所者から話しかけがあった時は、他の業務よりも優先し、ゆっくりと話が聴けるように配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 失語症等により、会話が不可能な入所者には、個別にコミュニケーションの方法を考え、本人との話し合いでサイン等を活用したりしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者全員の意見が出せる場を設定している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 会話の不足している入所者には、特に気を配っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 日常生活の各場面で身体介護のみにとらわれず、コミュニケーションの重要性を認識し、言葉がけを行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>言葉によるコミュニケーションのみに捉われるのではなく、入所者の表情やしぐさなどにも、注意しながら、入所者の思いや意向等を汲みとることが必要です。また、入所者が話しやすいような機会づくりや雰囲気づくりを行うことも期待されます。</p> <p>この設問は、特に意思表示や言葉の発出が少ない利用者への会話の機会をどのように作り出しているかを問うものです。</p>

(8)レクリエーション等

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
24	①主体的な参加・活動 (共通)	レクリエーション等のプログラムは、入所者が積極的に参加しやすいように計画され、実施されていますか。 <input type="checkbox"/> ① 日常生活援助の中でも、活動に対する動機づけが充分配慮されている <input type="checkbox"/> ② 参加者間の主体的な参加・活動を促している <input type="checkbox"/> ③ 参加者が企画・運営にかかわれる体制がある <input type="checkbox"/> ④ 参加者の特性を十分に把握し、趣味や興味を重視した計画がされている <input type="checkbox"/> ⑤ 個々の身体状況や日課等を考慮し、活動しやすい時間を設定し、実施している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	体調や希望に応じて選択できるようなメニューづくりや関係機関と連携したプログラムづくりなどの工夫によって、参加のしやすさに配慮したり、入所者の動機づけへの働きかけを行うことが期待されます。 なお、ここでいう「参加者が企画・運営にかかわれる」状態とは、職員等と同じ行動をとるという意味ではなく、プログラムに対する意見を述べたり、企画のアイデアを参加者(入所者)から求め、それを活かしたプログラムを計画するなど、入所者と職員が双方のやりとりを行うなかでプログラムが作成される状況をさします。

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
25	②多彩なメニューの工夫 (共通)	レクリエーション活動(クラブ活動等)は、趣味・娯楽などを活かした小グループで行われ、自由に選択できる多彩なメニューをそろえていますか。 <input type="checkbox"/> ① それぞれの活動が入所者個々に明らかにされ、選択するための個別の働きかけに配慮している <input type="checkbox"/> ② 常に入所者の趣味・興味、希望を把握することに努めている <input type="checkbox"/> ③ 必要があれば、新たな活動を設定したり、社会資源を活用している <input type="checkbox"/> ④ 入所者個々の趣味や興味等に応じ、それぞれが選択できるように配慮されている <input type="checkbox"/> ⑤ 継続性のあるクラブ活動から、単発的なレクリエーションまで入所者の特性を配慮した小グループの活動が設けられている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	レクリエーションの実施にあたっては、入所者の希望や興味などに応じたメニューを数種類準備するとともに、ある程度、長期的な計画を入所者に示し、入所者が自分自身の興味や好みに応じて「選べる」環境づくりを行うことが求められます。 なお、ここでいう「多彩」とは、単に活動種類の多さだけをさすのではなく、入所者の趣味・興味、希望を踏まえたメニューであるかをさします。

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
26	③家族・ボランティア等の参加 (共通)	各種行事に、家族やボランティア、地域住民も参加できるように配慮していますか。 <input type="checkbox"/> ① 年間の行事計画の中に、家族やボランティア、地域住民が参加できるものを設定し、その計画を明らかにしている <input type="checkbox"/> ② 定期的に参加できる行事を設定している <input type="checkbox"/> ③ 家族やボランティア、地域住民も企画から参加し、一緒に楽しめるようにしている <input type="checkbox"/> ④ 地域住民が参加しやすいよう開催時間等に配慮している <input type="checkbox"/> ⑤ 月単位程度の諸活動でも、常に家族やボランティア、地域住民の存在を意識化し、いろいろな通信手段を利用して参加を呼びかけている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設は地域の社会資源、財産であるという視点からも、行事等に地域住民の参加が得られるよう計画することが期待されます。また家族、ボランティア、地域住民が施設を訪れ、入所者の生活場面に触れることで、施設への理解も深められると考えられます。 この設問は、行事の際に、外部からの参加をどのように得ているかについて問うものです。

(9)認知症高齢者

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
27	①適切な対応 (共通)	<p>周辺症状(BPSD)等の観察と分析を行い、その行動への適切な対応を行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 周辺症状(BPSD)を早急に抑制しようとするのではなく、環境を整備したり、受容的な態度で行動を受けとめている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 周辺症状(BPSD)を呈する入所者には、一定期間の観察と記録を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 周辺症状(BPSD)の行動パターン、危険性等を職員が認識している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 医療スタッフ等、他職種との連携のもと、より細かな分析を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 周辺症状(BPSD)の記録から原因や対応策等を検討している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>認知症の周辺症状(BPSD)を、問題として捉えるのではなく、行動の背景やパターンなどを観察や記録をもとに職員間で協議し、環境整備などによって、症状の軽減に努めることが大切です。また、医師など専門職の視点や意見を取り入れながら、より良いケアの方法を探っていくことが求められます。</p> <p>なお、認知症は、記憶障害を主とする「基本症状(中核症状)」と心理・環境・性格等の相互作用でさまざまな心理症状や行動症状を示す「周辺症状」とに分類されます。後者は、周囲の人々に様々な負担を与えるため、「問題行動」と呼ばれることが一般的でしたが、ケアのあり方や環境を変えることによって改善しうること、「問題」は本人ではなく介護者側の問題であり、高齢者の尊厳を考えると不適切であるとの指摘があること、などの理由から最近では使用が控えられ、その代わりに「BPSD」の呼び方が推奨されています。一方、「周辺症状」の呼び方も既にある程度定着しており、本評価基準では当面「周辺症状(BPSD)」と併記することとします。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
28	②プログラム等への 配慮 (共通)	<p>認知症高齢者に対する生活上の配慮が行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 認知症高齢者への援助指針と個別的援助プランが確立されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 認知症高齢者に対しては、日常生活能力を評価し、その機能の維持、及び残存機能を発見する配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ あらゆる場面で支持的援助を重視し、生活への配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 介助においても、排泄の状況や水分摂取等、特に気を配るとともに、保清に関する気配りもされている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 他職種との連携のもとに、定期的な援助の見直しが検討されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>認知症の特徴や症状についての学習を行い、認知症を正しく理解したうえで、さまざまな方法論について学び、それらを実際のケアに活かせるように、事業所としての援助の方針をつくりあげることが必要です。また、事業所としての援助方針とあわせて、入所者個々の症状に応じながら、よりよいケアの方策を探っていくことが期待されます。</p> <p>この設問は、認知症高齢者に対する生活上の配慮について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
29	③抑制・拘束の有無 (共通)	<p>抑制・拘束は行わないようにしていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 専門他職種との連携を通して、個別の対応を行う等、事故防止対策を十分に講じて抑制をしないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 止むを得ない場合に限り、家族への説明と同意により車椅子の安全ベルトを活用するなどしているが、そのような場合でも、できる限り見守るなどして拘束時間を限定し、定期的に見直しをしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 拘束や抑制をせざるを得ない場合であっても、個別に機能訓練を行うとともに職員の接触時間を長くとり情緒的な安定が得られるよう努力している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 環境面に十分な工夫をし、入所者の行動が抑制されたり拘束されたりすることのないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 抑制や拘束のみを目的にした大量の向精神薬投与は行わないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>全職員が身体拘束の内容と拘束による弊害を認識し、拘束をしないケアに取り組むことが重要です。なお、やむを得ず身体拘束を行う場合には、3つの要件(切迫性、非代替性、一時性)を満たす必要があり、そのうえで、拘束の内容、目的、理由等を家族へ説明し、同意を得ることが必要です。また、その後も、観察・評価・再検討を行い、拘束をしないケアに取り組むことが求められます。</p> <p>この設問は、抑制・拘束を行わないための取組状況、及び抑制・拘束を行う際の手順について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
30	④活動的な生活の援助 (共通)	<p>認知症高齢者に対しては、夜間安眠できるように、日中できるだけ活動的な生活を援助していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者個々の特性に合わせ、個人あるいはグループで継続的に行えるような活動を設けている</p> <p><input type="checkbox"/> ② グループ活動の困難な入所者に対しても、個別の活動を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 認知症高齢者の特性に応じたリハビリ、クラブ活動等を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 活動メニューは、知的機能を活発化したり、情緒に訴えるようなものなど、入所者個々の症状に配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 四季折々の活動を用意し、日中の活動的な生活の工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>睡眠を眠りという意味だけで捉えるのではなく、食事や日中の活動などと連続したものと捉え、入所者本人にとっての自然なリズムで生活できるように、環境や生活の過ごし方等を検討し、援助することが求められます。</p> <p>この設問は、認知症高齢者に対する睡眠と日中活動の工夫について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
31	⑤環境の整備 (共通)	<p>認知症高齢者が安心して生活できるよう、環境が整備されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 認知症高齢者の居室については、慎重に検討し、特に配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 共有スペースは、くつろげるよう工夫がされており、認知症高齢者のための環境整備を進めている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 居室・トイレ等、一目でわかるような表示をする等の工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ハード面では安全性を重視したうえで、心の潤いに通じるような環境整備の工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ベッドの周囲には写真や個々の好みの物を飾る等配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>急激な環境の変化によって、入所者の混乱を招かないように、落ち着いて過ごせる環境の整備(例:観葉植物や生き物を飼う等)に努めるとともに、入所者のペースを大切にケアを行うことが求められます。また、家族の心理的負担にも配慮し、家族を支えるための社会資源などを必要に応じて紹介することも期待されます。</p> <p>この設問は、認知症高齢者に対して安心して生活できる環境をどのように整えているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
32	⑥医学的配慮 (共通)	<p>認知症高齢者に対する医学的配慮が適切に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 認知症の病態等を把握し、各入所者ごとに施設サービス計画に基づいたサービスを実施するため、必要に応じて医師・看護・介護職員等によるケアカンファレンスを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者ごとの詳細な行動分析・評価を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 特に周辺症状(BPSD)の著しい入所者については、専門医等の指導を受ける等の対応を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 専門医等の助言等を得て、マニュアルが作成されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 併存する可能性のある医学的問題の検討を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>認知症の症状により、病気の発見などが遅れることのないように、必要に応じて、医師や看護師等と連携しながら、入所者に対する医学的配慮を行うことが求められます。</p> <p>この設問は、認知症高齢者に対するケアについて、医学面側面からの視点をどのように取り入れて、反映させているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
33	⑦認知症の専門的診断・評価(老健)	<p>認知症疾患の専門的診断・評価がなされていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 認知症の専門医の定期的な診察を受けている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 認知症の疑いのある入所者に対しては、専門医に診断を依頼している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 必要に応じて、CTなどの検査を受け、認知症の疾病診断が行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 一定の認知症評価基準によって、定期的に評価を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 評価・診断の記録が整理され、活用されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>認知症の疑いのある入所者に対しては、早めの診察を受けられるよう、施設として体制を整えることが求められます。</p> <p>この設問は、入所者の認知症を発見する体制がどのように整えられているかを問うものです。</p>

(10)入所者の自由選択

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
34	①嗜好品の自由(共通)	<p>嗜好品について適切な対応がなされていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 心身状況等に問題のある人でも、個別的な対応をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 嗜好品が自由に購入できるような売店等が、施設内にあって利用できる</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 付き添いの必要な施設外での飲食、喫茶等の希望にも応じている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 個々の嗜好を考慮し、集団生活を営んでいることを配慮したうえで、喫煙場所や飲酒時間の設定等で対応している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 個々の嗜好が職員に周知されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>嗜好品の選択について、入所者が自分自身の意思や希望に応じた選択するために、個別、柔軟に対応できるような場面や機会をつくることが求められます。</p> <p>この設問は、嗜好品において、入所者の意思や希望に応じる体制がどのように整えられているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
35	②テレビ・新聞・雑誌等の自由な利用(共通)	<p>テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・図書・ビデオが自由に利用できますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 種類を数多く準備し、さまざまな状態の入所者が利用できるように配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 希望があれば個人で購入できる</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 心身機能の状況により自分で読む事が困難な入所者には、ボランティアの導入等により、朗読のサービスが提供できる</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 新聞・雑誌・図書等が、皆で自由に利用できるように閲覧コーナーを設けている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ テレビやビデオを設置して、入所者が自由に見られるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>施設で暮らしていても、これまで自宅等で個人の好みに従って利用していたテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・図書・ビデオが利用できることは、生活の継続性にとって重要な要素だといえます。施設で個人の希望する新聞・雑誌等をすべて購入・配布することは現実的ではありませんが、施設として新聞・雑誌等の購入について基本的な考えを持ち、個人の嗜好性が高いものについては、個別に対応する仕組みがあることが求められます。</p> <p>この設問は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・図書・ビデオ等の利用について、利用者が利用できる体制がどのように整えられているかを問う項目です。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
36	③髪型・服装の自由 (共通)	<p>髪形や服装・化粧は、入所者の好みで自由に選ぶことができますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 身だしなみの介助が必要な入所者でも、入所者の好み、希望を尊重している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 服装は、着脱しやすい型・素材にのみとられるのではなく、入所者の好みの柄・色等を重視している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 日常的に買物の機会を設けたり、施設内で衣料品販売を行うなど、入所者が自分で選べるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 理美容室への外出の機会や、理美容師の施設内への導入等に配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 希望があれば、化粧ができる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者一人ひとりの個性や希望、生活歴等に応じて、入所者の思いを尊重しながら、髪形や衣類の選択や清潔を保持するためのサービスを提供することが期待されます。</p> <p>この設問は、髪型・服装について、入所者の好みや希望を尊重あるいは重視する取組がどのように行われているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
37	④外部との自由な連絡 (共通)	<p>外部と自由に通信(電話・ファクシミリ・手紙)することができますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 個人の携帯電話の持ち込みが可能である</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者のプライバシーを守るために、会話の内容が他人に聞こえないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 公衆電話等を設置し、自由に電話できるよう配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 便箋・封筒・切手類が自由に購入でき、また自由に投函できる設備等を工夫している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 電話・手紙が自分でできない入所者には、信頼関係にある職員が、極力プライバシーを守る配慮をしながら代行し、外部と通信できるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者が様々な通信手段を利用する環境が整っているか、また、それらがプライバシーに配慮したものになっているかが求められます。</p> <p>この設問は、入所者が通信手段(電話・ファクシミリ・手紙)を利用できる環境が整えられているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
38	⑤金銭等の自己管理 (共通)	<p>金銭等を自己管理できる人は、自己管理できるように配慮していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 日常の経済活動が支障なくできるような工夫や、その場面を設定している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 多額の現金は所持せず、個人財産として管理を希望する場合は、適当な金融機関を紹介するなどして、自己管理しやすいよう配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 個々のベッドの周囲に、個人で財産等の管理ができるための環境整備をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 全面的に職員が管理するのではなく、小銭等日常の小遣い程度は入所者が自己管理できるよう配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 一部を職員が預っている場合でも、定期的に入所者に確認をしてもらっている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者が日常の生活の中で、その人の方や希望に応じて、お金を所持したり、使えるように支援していくことが大切です。大金の管理や日常の出納などは、難しい面もありますが、自分で選び自分でお金を払う場面をつくる意味について、家族等と話し合いながら、管理方法等を取り決め、支援していくことが求められます。</p> <p>なお、この設問は、すべての利用者の金銭管理について問うものではなく、自己管理や職員の協力を得て自己管理できる入所者についてお答えください。該当者がまったくいない場合は、回答を省略してください。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
39	⑥施設外部との交流(共通)	<p>施設外部との交流が自由ですか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 自分で外出できない入所者には、職員やボランティアが付き添ったり、団体の人に訪問してもらう等の配慮をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 友人、家族、地域の関係者が来訪しやすい雰囲気をつくっている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 地域の保育所や小学校等からの訪問を継続的に受け入れている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入所前の団体等へ参加を希望する場合には、参加できるように配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 地域行事等の情報を入所者に提供している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者の希望や生活歴等に応じて、施設外部との交流が自由に行えるような環境づくり、機会づくりを行うことが求められます。また、家族や友人、地域の人などが訪問しやすい雰囲気をつくる他、地域の行事などの情報を入所者や家族に提供することも、大切です。</p> <p>この設問は、入所者と友人、家族、地域住民等の交流の機会の有無等について問うものです。</p>

2 専門的サービス

(1)施設サービス計画

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
40	①ケアプランの策定(入所者の意見の反映)(共通)	<p>ケアプラン(個別の看護・介護計画)は、入所者の意見を取り入れて作成されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者のケア目標・計画を立案する際に、入所者・家族の意見を必ず取り入れ、文書で示して同意を得ている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所当日からケアは始まるので、入所前と入所当日に得た情報から暫定ケアプランを作成して対応している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ すべての入所者について、入所後2週間以内にケアプランを立案し、以後、定期的に見直しを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入所前に訪問し、情報収集を行ったうえで、ケアプランが作成されており、在宅ケアプランと連動している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者や家族から意見が出やすいように配慮している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所前に心身の状況や生活歴、好み、趣味などの情報や入所者・家族の希望を聴き取り、ケアプランに反映させることが求められます。また入所後も継続して、日々のケアや入所者の言動、表情等から分かる様々な情報を足していき、「その人らしい暮らし」について、職員間で検討しながら、ケアプランの立案や見直しにつなげることが必要です。</p> <p>この設問は、ケアプランに入所者の意見が盛り込まれているか、またプラン作成時期について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
41	②ケアプランの策定(ケアカンファレンス)(共通)	<p>ケアカンファレンスを定期的に行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 医師も含めて全職種が参加しており、参加できない場合でも全職種の意見が出そろっている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 必要に応じて、入所者や家族、施設外の関係者も参加している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 週1回以上定期的に実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 司会・記録などの役割、進行のしかたが決められており、発言が偏ったりトップダウンの進め方にならないように配慮されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ケアカンファレンスの結果が、参加していない職員全員に伝達される仕組みにしてある</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>ケアカンファレンスを定期的開催し、サービス提供上の留意点などを確認するとともに、会議の内容を事業所の職員全員で共有し、同じ視点でサービス提供にあたることが大切です。またケアカンファレンスに家族等の参加が得られない場合にも、何らかの方法で意向や希望を聴きとり、ケアプランに反映できるよう取り組むことが期待されます。</p> <p>この設問は、ケアプランの開催状況を問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
42	③ケア記録(記録の管理と活用) (共通)	<p>ケアプランについての記録は適切に記入され、管理され、活用されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケアプランに沿ったケア実施記録があり、これに基づいてモニタリング、評価がなされている</p> <p><input type="checkbox"/> ② ケアプラン表があり、入所者・家族の希望とニーズ、目標、ケア項目、行動計画(いつ、どこで、だれが、どのように、いつまで)、ケアスケジュールがわかる</p> <p><input type="checkbox"/> ③ ケアカンファレンス記録がある</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ケアカンファレンス記録には、参加職種、入所者・介護職員の意見、各職種の意見、今後の方向性が整理されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 記録の方法が職員間で統一されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者の記録は、職員の情報の共有化とケアプランの評価・見直しを行う際の基本的な情報になるものです。入所者一人ひとりに対するサービスの実施状況や経過、相談の内容などを、統一した様式・方法で記録し、それらの内容を職員間で情報共有することが重要です。また、プライバシーに配慮した記録の管理方法についても細心の注意を払うことが求められます。</p> <p>この設問は、ケアプラン作成後の記録の管理・活用状況について問うものです。</p>

(2)看護・介護

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
43	②家族との連携 (特養)	<p>重篤な状態や終末期に入った場合、家族との連携が密にとれていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 重篤な状態になった時の対応について、あらかじめ家族と話し合っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 重篤な状態になった時の連絡の方法をあらかじめ確認している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 重篤な状態になった場合、説明をしている(連絡をしている)</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 誰が付き添うかを確認している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 付き添いの人への施設の対応(休む場所・食事等)ができている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方、施設としての対応について、できるだけ早くから、入所者、家族、かかりつけ医、職員等で話し合いを行い、その時々入所者や家族の意向を確認しながら、対応方針の共有化を図ることが重要です。</p> <p>この設問は、入所者が重篤な状態陥った場合、または終末期についての対応について問うものです。</p>
	②家族との連携 (老健)	<p>重篤な状態や終末期に入った場合、家族との連携が密にとれていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 医師が病状等について、家族に十分な説明を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 関係職員が適切に対応できるよう周知徹底されている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 医師の適切な処置が行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 家族への連絡が可能になっている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 施設から家族に対して連絡を取り、状況を説明している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
44	③感染症対策 (共通)	<p>感染症(例:かいせん・MRSA・インフルエンザ・結核等)に対する対策は検討されていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 施設内感染対策マニュアルが作成され、職員間で周知徹底されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 施設内感染対策委員会を設置している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 必要な手洗器・消毒薬等の設備機器等が設置されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 予防接種や発症時には、感染が他の入所者に波及しないような体制をとっている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 1年を越えて入所している者に対して、胸部X線撮影による健診の実施、または主治医との連携により、その確認がなされている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>感染症を予防し、万一の場合にも罹患範囲を広げないために、職員が必要な知識をもって、日々の業務にあたることや入所者、家族等へ必要な情報を提供することが求められます。職員全員が、感染症対策に対して、適切な行動がとれるよう、日ごろの研修による周知徹底や専門機関との連絡・連携体制の整備が求められます。</p> <p>この設問は、感染症を予防するための体制について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
45	④十分な体位変換 (共通)	<p>十分な体位変換は定期的に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケアプランに沿った体位交換を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 個人の状態に適した体位変換を行うために、ビーズマット等の工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 体位変換の必要な人の一覧表が、ステーション(一覧表)とベッドサイド(個人)に配布されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 体位変換の必要な人の一覧表が作成され、日々確認されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 個人の状態に適した体位変換を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>寝たきり状態の入所者に対して、体位交換を定期的に行うことは、身体的な利点のほかにも精神面の効果があります。目に入るものが毎日同じでは、生活は単調なものになりますが、体を起こしたり、車いすなどで移動することで入所者の生活は変化し、ひいては、入所者の「生きる意欲」の引き出しにつながると考えられます。</p> <p>この設問は、身体面及び精神面から体位交換をどのように行っているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
46	⑤職員間の情報交換 (共通)	<p>職員間の情報交換や伝達はスムーズにできるような体制になっていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 各職種ごとの情報交換や伝達が、常時適切に行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 看護・介護の業務分担が明確にされている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 責任者が明確にされている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入所者ごとの記録が記載され、適切に申し送りされている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 各職種ごとの情報交換も適時実施できるように配慮されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>朝礼やミーティング、申し送りノートなど様々な手段を活用して、情報が正しく、確実に伝わるしくみが整えられていることが必要です。</p> <p>この設問は、職員間での情報共有の仕組みについて問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
47	⑥睡眠・食事・排泄状況等の把握(共通)	<p>入所者の睡眠・食事・排泄状況等の把握をしていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① アセスメントが入所者のケアに反映されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 必要に応じ、睡眠・食事・排泄状況等の個別のアセスメントを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者の日々の状況が把握されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 健康状態・医療・看護・介護等について記録されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者の日々の状況について、看護・介護職員等の情報伝達が適時なされている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>睡眠・食事、排泄などを個々で捉えるのではなく、利用者の生活の中の一部として捉え、入所者の生活リズムを把握して、それに合わせながら、日々のサービス提供や記録、情報伝達・共有が行われることが必要です。</p> <p>この設問は、入所者を生活場面ごとに切り離さず、入所者の生活をまるごと一人の人間の生活として捉えた上で、個別の生活場面と生活全体を連関させる視点から、入所者の日々の生活状況を把握する取組を行っているかを問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
48	⑦服薬管理(共通)	<p>入所者に対する服薬管理が適切に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 投薬の指示に基づき、各入所者ごとに看護・介護職員が適切に服薬させている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 誤薬がないよう、日々チェックしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 副作用のチェックも考慮してケアを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 副作用について、介護職員にも周知が図られている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 副作用についての勉強会等が開催されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所者一人ひとりが服用する薬の目的や副作用、用法や用量について、職員全員が共通認識をもち、飲み忘れや誤薬を防ぐための取り組みが必要です。</p> <p>この設問は、入所者に対する服薬管理の考え方や仕組みについて問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
49	⑧口腔ケア(共通)	<p>入所者に対する口腔ケアが適切に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 食後または就寝時の口腔清掃を実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 歯科医師、歯科衛生士による口腔清掃状態及び咀嚼嚥下機能の定期的な管理・指導が行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者の口腔清掃の自立程度を把握して、個別の口腔ケアを実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 義歯の着脱、清掃、保管について指導している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 利用しやすい洗ロスペースを確保している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>口腔ケアの重要性を認識し、入所者本人の習慣や持っている力を活かしながら、食後のうがいや口の中の手入れの支援をすることが必要です。また必要に応じて、歯科医師や歯科衛生士などの専門職の助言・指導のもとで、口腔内の清潔保持に努めることも求められます。</p> <p>この設問は、入所者に対する口腔ケアの実施環境について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
50	⑨専門職種の配置 (老健)	<p>歯科衛生士, 言語聴覚士など設置基準に規定されていない職種により, 適切な入所者の処遇がなされていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① これらの職種を配置または雇上げ(非常勤)で, 入所者に対するケア, 指導, 訓練等を実施している, または関係機関と協力体制をとり必要に応じて対応している</p> <p><input type="checkbox"/> ② これらの職種を含めたケース会議等を実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 施設職員がこれらの職種による研修を受けている, または定期的に専門職種から指導を受ける機会を確保している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士は入所者のニーズを早期に把握し, 歯科治療に結びつけている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 言語聴覚士は, 嚥下困難者に対して医師と連携して, 必要な検査を行い, 定期的に嚥下機能を把握している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>介護保険による職員配置基準を満たしていることは事業所認可の必要最低限の条件ですが, 施設の特徴をより強く打ち出すために, 基準外の専門職を雇用するなどして配置することは事業所(法人)の自主性によるものです。</p> <p>この設問は, 入所者の状態に応じた柔軟な職員配置を検討する環境づくりについて問うものです。</p>

(3)リハビリテーション

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
51	①「生活の中のリハビリテーション」 (特養)	<p>リハビリテーションを訓練室のみならず生活に役立つ視点で実施していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケアプランと連動した個別のリハビリテーション計画に基づいて, 日常生活援助のなかで適切に実施されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 日常生活の中でのリハビリテーション課題や方法が明らかにされている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 課題や方法に基づいて, 生活の場においても個々に適した専門職の指導による意図的なリハビリテーションを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ケアプラン, リハビリテーション計画に沿った実施記録が整備されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 介護職員が生活の中でのリハビリテーションについて理解し, 介護場面で活用できる工夫がされている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>自分自身でできることはやってもらいながら, 訓練室だけのリハビリにとどまらず, 日常生活に役立つ視点でリハビリを行うことによって, 入所者が日々の生活の中で自信をもつことにつながり, リハビリへの意欲が向上することになります。この視点を職員間で共通認識しながら, 実施することが求められます。</p> <p>この設問は, 訓練室以外でのリハビリテーションに対する取り組み状況について問うものです。</p>
	①「生活の中のリハビリテーション」 (老健)	<p>リハビリテーションを訓練室のみならず生活に役立つ視点で実施していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① ケアプランと連動した個別のリハビリテーション計画に基づいて, 日常生活援助のなかで適切に実施されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 在宅で生活することを見据え, 家庭を訪問するなどにより, 居住設備, 家庭内環境改善等についての助言をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者や家族に対し, リハビリテーションの意義をあらかじめ十分に説明している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ケアプラン, リハビリテーション計画に沿った実施記録が整備されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 直接携わる理学療法士・作業療法士, 看護・介護職員等は, 治療的機能訓練としてだけでなく, 生活自立支援を目標として実施するものであることを認識している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
52	②用具の工夫 (共通)	<p>自助具や介助用品の作成や改造などを行っていますか。</p> <p>☆□ ① 入所者それぞれに適した自助具や介護用品の作成や改造を行っている</p> <p>□ ② 記録が行われており、積極的な取り組みの姿勢がみられる</p> <p>□ ③ 福祉機器、介護用品の展示、個々の状態に合った適切な機器等の紹介を行っている</p> <p>□ ④ 自助具や介護用品の新しい商品についても情報収集している</p> <p>□ ⑤ 関係施設の取り組みについても情報収集している</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>入所者が自分自身でできる部分は、できる限り自分で行えるようにするために、自助具や福祉用具の活用は大切です。入所者の身体状況等に応じて、自助具の作成や改造を行うことが期待されます。</p> <p>この設問は、入所者の自立支援を促す視点から、自助具や介助用品の使用・導入の状況について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
53	③立案・会議・再評価の実施 (特養)	<p>リハビリテーション計画の立案(評価・目標設定・実施計画)について、ケアカンファレンスを行っていますか。</p> <p>☆□ ① ケアプランに基づいて、個別のリハビリテーションの計画を作っている</p> <p>□ ② リハビリテーション計画をつくるにあたって関連ある担当者が複数でケース検討を行っている</p> <p>□ ③ リハビリテーション計画作成や見直しにあたっては3か月に一回以上は専門家を入れて定期的にケアカンファレンスを行っている</p> <p>□ ④ 実施状況に応じた計画・課題の見直しを行っている</p> <p>□ ⑤ ケアカンファレンスの記録が整備されている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>入所者個々のケアプランに基づき、個別のリハビリテーション計画を作成するとともに、必要に応じて、専門家(医師、理学療法士、作業療法士等)の視点を取り入れながら、ケアカンファレンスを行い、実施状況や目標に応じた評価等を行うことが求められます。</p> <p>ここでいうリハビリテーションとは、狭義の機能訓練(PT,OT,ST等が行う専門的なリハビリテーション)をいうのではなく、広義のリハビリテーションを示しています。</p> <p>この設問は、入所者のリハビリテーションを計画的に実施する仕組みについて問うものです。</p>
	③立案・会議・再評価の実施 (老健)	<p>リハビリテーション計画の立案(評価・目標設定・実施計画)について、ケアカンファレンスを行っていますか。</p> <p>☆□ ① ケアプランに基づいて、個別のリハビリテーション計画を作っている</p> <p>□ ② 関係職員に十分徹底されており、関係職員によるケアカンファレンスが少なくとも週1回以上実施されている</p> <p>□ ③ 医師、理学療法士・作業療法士、看護・介護職員等、関係職員全員によるケアカンファレンスが少なくとも1か月に1回以上、定期的実施されている</p> <p>□ ④ ケアカンファレンスにおいて、各入所者別の評価・目標設定・計画についての検討が行われている</p> <p>□ ⑤ ケアカンファレンスの記録が整備されている</p> <p>□</p> <p>□</p>	

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
54	④専門家の指導による計画的な機能訓練(共通)	<p>医師や理学療法士、作業療法士等の指導のもとに計画的に機能訓練サービスを行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① チームアプローチとして、的確に実施されるよう配慮している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者の個々の状態に応じた訓練計画を具体的に作成し計画的に実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 医師や理学療法士・作業療法士等が細やかに指示・評価を行い適切な管理のもとに行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 理学療法士・作業療法士等が集団訓練と個別訓練を計画的に行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 医師や理学療法士、作業療法士等は、入所者、家族等に対して、他職種の関わりについて、わかりやすく説明している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>機能訓練サービスの実施にあたっては、専門職の視点を取り入れながら、チームアプローチとして、実施することが大切です。</p> <p>この設問は、専門職の視点を取り入れた機能訓練サービスの提供体制について問うものであり、短期集中リハビリテーション加算等、介護報酬の加算体制の有無には、とらわれません。</p>

(4)社会サービス

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
55	①入所者及び家族への説明(共通)	<p>入所者及び家族に健康状態等を分かりやすく説明していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 必要に応じて、医師・看護・介護職員により、入所者の病状等について、説明をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者の状況について、家族に対し個別に文書や電話等で定期的に報告している</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者の状況に変化があった時は、その都度、家族に対して、個別に報告している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 家族が施設に来院した機会に、入所者の状況を説明している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者や家族からの質問についてもよく聞くようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>連絡ノートの活用やアンケートの実施、訪問、広報紙の発行など、様々な方法で家族とのコミュニケーションを確保し、入所者の心身の状況や日々の様子などを伝えていく必要があります。入所者の健康状態の変化に気を配り、家族、かかりつけ医、介護支援専門員等と連携をとりながら、より質の高いサービス提供を心がけることが求められます。</p> <p>この設問は、入所者の健康状態について説明する仕組みについて問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
56	④家族との話し合い(特養)	<p>家族関係についての相談に応じ、適切な調整を行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 必要な時にいつでも相談にのり、調整できる体制をとっている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 家族関係についての相談や調整のために、必要に応じて生活相談員等が家庭訪問を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 家族関係についての相談や調整を、入所者サービスの重要な課題として、意図的に取り組んでいる</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 相談の内容等を記録している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ケース会議の事例としても取り上げ、家族関係調整の課題に取り組む努力をしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所期間中の不安の軽減等のために、必要な相談体制を整える必要があります。また、必要に応じて、家庭に出向くなど柔軟な対応も求められます。</p> <p>この設問は、入所者の家族関係に関する相談に応じる体制について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
56	④家族との話し合い (老健)	<p>家族関係についての相談に応じ、適切な調整を行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 家庭復帰促進のために、適時家族と入所者との相談に応じ、調整を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 必要なときにいつでも相談にのり、調整できる体制をとっている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 支援相談員等が、家庭への訪問指導をしたりして相談に応じている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 家族関係(調整)の課題にも配慮したケアプランを作成している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ケース会議の事例としても取り上げ、家族関係調整の課題に取り組んでいる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入所期間中の不安の軽減等のために、必要な相談体制を整えることが必要です。また、必要に応じて、家庭に向くなど柔軟な対応も求められます。</p> <p>この設問は、入所者の家族関係に関する相談に応じる体制について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
57	⑤経済的・社会的相談 (特養)	<p>入所者や家族からの経済的・社会的な相談に応じていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 専門家や専門機関と連携して対処している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 生活相談員が、いつでも経済的・社会的な相談に応じられる体制をとっている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 入所者・家族との個別の話し合いや相談から、入所者・家族が抱えている経済的・社会的ニーズの把握に努めている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入所者の直接担当職員(居室担当者等)と相談担当職員(生活相談員等)との連絡を密にして、問題や相談の課題があれば適切に対応できる体制をとっている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 必要な関係機関の情報収集に努めている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>利用料負担減免制度の申請など、相談先を把握し、家族等が抱える経済的・社会的ニーズの解決に対応することが求められます。</p> <p>この設問は、経済的・社会的な相談に特化した相談体制について問うものです。</p>
	⑤経済的・社会的相談 (老健)	<p>入所者や家族からの経済的・社会的な相談に応じていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 利用料等の支払いが困難な入所者・家族の相談に応じている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 支援相談員等が、常時具体的な対応ができる工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 利用料等の支払いが困難な入所者・家族に対して、費用の減免措置や関係機関等との協議を適切に行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 利用できる制度の情報収集を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 相談の際には、個人情報に留意するとともに、記録を残している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	

3 その他のサービス
 (1)入退所に関する項目

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
58	⑤専門職員による入退所相談(共通)	<p>入退所相談には、医師・看護師、支援相談員等による専門的な対応をしていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 特定の職種による対応ではなく、チームアプローチとして全職種の参画のもとに実施されている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入退所時の相談に関するマニュアルが作成されている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 医療と介護サービスを一体的に提供する施設機能の特質が、記録の共有化等を通して、全職種に具体的に周知徹底されている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入所、退所について判断の材料となる記録を整備している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者・家族の希望により関係する専門職員が対応している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>入退所に際しては、医療面、看護面、介護面など、入所者の生活全体を支えるという総合的な視点で対応されることが求められます。また、マニュアルの作成等により、どの職員が対応しても、可能となるよう体制を整えることも期待されます。</p> <p>この設問は、入退所相談時の体制について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
59	⑥定期的な入所継続判定(共通)	<p>入所継続の要否判定を定期的に行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者の入所継続についての判定は、関係職種のチーム会議の中で定期的に行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 家庭復帰に向けて、家族や居宅介護支援事業所等との調整等の配慮を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 家庭復帰のため入所者・家族とも積極的に協議している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 家庭復帰のための在宅サービスについて入所者・家族に情報提供している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 入所者の入所継続について、定期的な判定し、その記録が残されている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>適切なサービス利用であるかどうかを客観的に判断するために、定期的な入所継続判定を行う必要があります。</p> <p>この設問は、入所の継続についての要否判定を行う仕組みについて問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
60	④退所先への情報提供(特養)	<p>退所にあたり、その退所先への入所者の状態に関する情報提供は適切に行われていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 情報提供は入所者・家族の同意を得て行うなど適切に行われている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 退所先の担当者を交えて今後の方針(ケアプラン)が決定されている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 情報提供にあたっての様式が定められている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 情報提供にあたっての記録が整理されている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 退所後の状況の把握に努めている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>退所先への情報提供にあたっては、入所者の生活の継続性に配慮して、退所先と十分に連携する必要があります。また、情報提供にあたっては、入所者や家族の同意を得て行うなど、個人情報やプライバシーの保護に十分留意することも求められます。</p> <p>この設問は、入所者の退所時に、退所先に対して行う情報提供の仕組みについて問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
60	④退所先への情報提供(老健)	<p>退所にあたり、その退所先等への入所者の状態に関する情報提供は適切に行われていますか。</p> <p>☆□ ① 情報提供は入所者・家族の同意を得て行うなど適切に行われている</p> <p>□ ② 今後の方針(ケアプラン)が決定され、退所先へ情報が提供されている</p> <p>□ ③ 退所後の主治医に対して、入所者・家族の同意を得たうえで、療養経過、検査結果、退所時処方等の内容が記載された情報提供様式により、適切に情報提供が行われている</p> <p>□ ④ 居宅介護支援事業所に対しても、入所者・家族の同意を得て情報提供を行い、在宅ケアの実施に配慮している</p> <p>□ ⑤ 情報提供にあたっての記録が整理されている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>退所先への情報提供にあたっては、入所者の生活の継続性に配慮して、退所先と十分に連携する必要があります。また、情報提供にあたっては、入所者や家族の同意を得て行うなど、個人情報やプライバシーの保護に十分留意することも求められます。</p> <p>この設問は、入所者の退所時に、退所先に対して行う情報提供の仕組みについて問うものです。</p>

4 地域連携

(1)医療機関・他機関との連携

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
61	①入所者等への説明(特養)	<p>入院に関して入所者や家族等と相談していますか。</p> <p>☆□ ① 入院に関しては、状況を入所者・家族などに説明し合意のもとに行っている</p> <p>□ ② 入所者・家族との相談の際の記録がある</p> <p>□ ③ 担当者をおき、入所者・家族の不安がないようにしている</p> <p>□ ④ 入院後も入所者・家族のフォローを行っている</p> <p>□ ⑤ 治療後の療養計画を医療機関とともに立てている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>入所者の健康状態や入院に関する施設利用の終了の対応等についても、入所者、家族等の納得が得られるよう、説明し、同意を得ることが大切です。</p> <p>この設問は、入院時の家族との連携の体制について問うものです。</p>
	①入所者等への説明(老健)	<p>入院に関して入所者や家族等と相談していますか。</p> <p>☆□ ① 入院時には、病院の医師と十分な連絡を行い、家族や入所者に説明し、今後の問題等について相談し、ついでに相談し、的確な対応を行っている</p> <p>□ ② 具体的な説明資料を準備している</p> <p>□ ③ 入院が必要な状態となった場合の対応について、あらかじめ入所者や家族に対して説明し、同意を得ている</p> <p>□ ④ 入所者・家族との相談の際の記録がある</p> <p>□ ⑤ 担当者をおき、入所者・家族の不安がないようにしている</p> <p>□</p> <p>□</p>	

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
62	②関係施設との連携・協力(共通)	<p>必要な場合には、病院・診療所・歯科医療機関・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、各種施設と連携がとれていますか。</p> <p>☆□ ① 必要な場合には各種施設との連携が十分にとれている</p> <p>□ ② 定期的な会議などを通じて、情報交換をしている</p> <p>□ ③ 関係する機関が把握ができており、一覧に整理されている</p> <p>□ ④ 関係する機関の担当者の把握ができています</p> <p>□ ⑤ 担当者が決まっている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>専門職及び関係機関による連携のもとで、チームアプローチとして、入所者支援を行う必要があります。</p> <p>この設問は、入所者の状況に応じて、必要な専門職及び関係機関との連携体制について問うものです。</p>

(2)権利擁護事業の取り組み

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
63	①後見人との連携(共通)	<p>入所者の判断能力が低下した場合、任意後見人や法定後見人などとの連携をとれる体制にありますか。</p> <p>☆□ ① 権利擁護に関する情報を入所者・家族に提供している</p> <p>□ ② 権利擁護機関や相談機関等と連携をとれる体制にある</p> <p>□ ③ 任意後見人や法定後見人がある場合は、その後見人と連携をとれる体制にある</p> <p>□ ④ 関係資料を収集し、制度の理解に努めている</p> <p>□ ⑤ 職員が制度を理解するため、制度の周知が行われている</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>介護保険制度は契約により、提供されるものであり、契約締結能力が低下しつつある入所者には、民法(成年後見制度)等の他の法律による制度を活用することが求められます。また、現時点で該当する入所者がいない場合でも、連携できる体制を整えておくことや制度に関する知識を深めておくことは必要です。</p> <p>この設問は、入所者の判断能力が低下した場合の事業所の体制について問うものであり、該当者がいない事業所については、このような状態の入所者がいた場合に、事業所として行う取り組みについてお答えください。</p>

5 施設設備環境

(1)施設設備

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
64	①快適性への配慮(共通)	<p>施設全体の雰囲気は、入所者の快適性に配慮していますか。</p> <p>☆□ ① 1人でいても快適に時間を過ごせるよう、本を置いたり、廊下の片隅にソファを置くなどしている</p> <p>□ ② 本を読んだり、音楽を聴いたり、創作活動が自由にできるスペースが配慮されている</p> <p>□ ③ 壁の色やカーテンの工夫、絵を飾るなどにより、快適性に配慮している</p> <p>□ ④ 騒音の遮断に配慮されている</p> <p>□ ⑤ お茶が自由に飲める</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>サービス利用中に入所者が快適に過ごせるよう、室温や臭気等に配慮したり、雰囲気づくりを行うとともに、入所者が思い思いの場所でくつろいで過ごすための居場所づくりを行うことが期待されます。</p> <p>この設問は、入所者の快適性を重視した建物内の設備や環境について問うものです。</p>

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
65	②ナースコールの活用 (共通)	<p>各ベッドおよびトイレや浴室のナースコールは円滑に作動していますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 入所者のコールにより、介護業務に支障をきたすようなことがあっても、スイッチを切ったり、撤去せずに、入所者の状態に応じた適切な対応をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 入所者から頻回のコールがあっても必ず居室等に出向き、入所者に直接会うようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ ナースコールには迅速に対応している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ ナースコールへの対応について職員に周知している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ナースコールの位置等は適切である</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>ナースコールは、職員が近くにいなかったり、言葉で体の不具合を訴えることが困難な利用者が意思表示する重要なコミュニケーションの手段です。</p> <p>この設問は、入所者のナースコールの操作について課題が感じられる場合等も含めて、ナースコールの使用環境について問うものです。</p>

(2)施設内環境衛生

NO.	小項目	設問	評価の着眼点
66	①異臭の有無 (共通)	<p>施設に異臭がありませんか、</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 異臭はほとんど感じられない</p> <p><input type="checkbox"/> ② おむつ交換等で異臭が発生してもすぐにおさまるよう工夫をしている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ トイレの周辺など特定の場所についても異臭はしない</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 異臭の有無について、施設に出入りするボランティアや施設実習生など外部の意見を確認するようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 空気清浄器を設置している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>排泄介助等による異臭が発生した場合にも、換気や空気清浄器の設置等の工夫により、すぐにおさまるような対応を行うことが必要です。</p> <p>この設問は、臭気の度合いを単に測るものではなく、臭気が出た場合の対応も含めて、施設の臭気に対する取り組み状況について問うものです。</p>